

政策シート (政策名) 緑化推進・緑地保全

(予算費目名) 緑化推進費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進める。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓	④教育	⑤ジェンダー	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑭海洋資源	⑮陸上資源
⑪実施手段									

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	883,277	598,901				
決算	848,420					
人件費(A)	141,400	128,200				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	989,820	727,101				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
フラワーパーク入園者数	人	目標	490000	500000	470000	470000	470000	470000
		実績	460286					
花づくりに関連するボランティア参加者数	人	目標	13000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績	11003					
保全が担保される緑地の面積	ha	目標	165	180	195	210	225	240
		実績	84					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進めた。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

・ 館山寺総合公園運営事業については、浜名湖花フェスタの開催やフジ棚の拡幅など魅力ある花の演出により多くの入園者が訪れ、目標を大きく上回る予想である。更なる入園者の増加を目指すため、魅力ある施設整備やイベントの開催を進める必要がある。
・ 花づくりに関連するボランティアの参加人数も各種支援を行ったことにより、順調に増加しており、市民協働による「花と緑のまち」が推進されている。
・ 緑地保全を市民協働で進めるために、高林住吉市民の森保全・利活用協議会の運営を支援し主体的な活動を促した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	緑化推進センター運営事業					49,524	44,264	0.7	0.1		
2	館山寺総合公園運営事業	○	○	○		367,918	349,718	2.6			
3	緑化推進事業					4,560		0.6	0.1		
4	花と緑のまち・浜松推進事業					103,292	79,132	3.0	0.1		1.0
5	緑地保全事業					61,238	34,918	3.4	0.7		
6	緑の基本計画策定事業					11,016	4,716	0.9			
7	市街化区域内農地緑化保全事業					16,255	9,255	1.0			
8	浜松城公園長期整備構想推進事業	○	○			63,784	61,684	0.3			
9	都市計画公園見直し事業					7,191	3,691	0.5			
10	花と緑の基金積立金					1,900	500	0.2			
11	緑化推進運営経費					40,423	11,023	3.8			1.0
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						727,101	598,901	17.0	1.0		2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 緑化推進センター運営事業

◇事業目的・事業対象

市民の“みどり”に関する意識の高揚、知識や技能を高める緑化活動拠点として、フラワーアレンジメント、生垣の作り方、剪定の仕方などの各種講座を開催し、緑の普及啓発活動を行う。また、県内唯一の都市緑化植物園として緑の相談所を開設し、質の高い市民サービスの提供を行う。

◇事業の概要

- ・31の見本園を活用した専門的な実技講習会や知識の啓発を図る講座の開催等により、“みどり”を愉しめる拠点づくりを行う。
- ・緑の相談所において、樹木や花苗の育成管理や病害虫の駆除など緑化に関する相談に応じる。
- ・「みどりの夏まつり」「落ち葉まつり」などのイベントを市民協働で行うことにより交流を深め、緑化推進拠点の充実を図る。
- ・水辺を利用した環境学習を通してみどりの大切さを広める。
- ・風致地区内住宅生垣用苗木及び緑地協定区域樹木等の交付を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S53	—	一般会計	自治事務		—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	40,628	44,264				
	決算	40,007					
	国・県支出						
	市債						
	その他	657	634				
	一般財源	39,350	43,630				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		5,180	5,260				
人工	正規	0.7	0.7				
	再任用(h31)		0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.8
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー	○ 5.1	⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・31の見本園を活用した専門的な相談から入門編の講習・相談など、誰でもみどりを愉しめる施設として提供する。
- ・園内利用者が、緑の必要性を感じられ、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つ場を提供する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
講座・講習会への参加人数(人) ※イベント、即売会を除く					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	4,700	4750	4800	4850	4900	4950	5,000
実績値	4277	5017					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・31の見本園を活用した専門的な実技講習会や知識の啓発を図る講座の開催等により、“みどり”を愉しめる拠点づくりを行う。
- ・緑の相談所において、樹木や花苗の育成管理や病害虫の駆除など緑化に関する相談に応じる。
- ・「みどりの夏まつり」「落ち葉まつり」などのイベントを市民協働で行うことにより交流を深め、緑化推進拠点の充実を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・都市緑化植物園の機能として「緑の相談所」の情報発信を積極的に行なうとともに、展示即売会や各種イベントの開催を継続しているが、春の遠足シーズンに雨が多かったこと、夏から秋にかけて台風の影響により園内一部規制を掛けた結果、昨年度比91%であるが、目標値を超える116,962人の入園者数となった。
- ・平成30年度も前年度並みの講座に加え、新規講座を開催するとともに周知方法に力を入れた結果、総参加者数は目標値を上回り(110%)、多くの参加者を集めることが出来た。
- ・管理棟や園内施設の老朽箇所の改修を進めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・花と緑のまち・浜松を推進する拠点施設として、ホームページなど様々な媒体による情報発信をしたことで、イベント等の入場者数が増加した。一方、講座や講習会の参加者数は目標値に達しなかったため、今後もアンケート等により市民ニーズを的確に把握し、人気講座の拡大や新規講座の立ち上げを積極的に行うことで、参加者数の増加を見込む。

・施設の老朽化については、施設利用者等の要望を踏まえ、長期展望のもと対応策を検討した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成29年度から令和2年度(5年間)を新たな指定管理期間に設定した。

・平成29年度から豊岡苗圃の機能(樹木交付)を緑化推進センターに集約させ統合することで、新たな指定管理期間における緑化推進の拠点機能を強化する(平成29年度交付数2,750本(風致地区2,549本、緑地協定201本)、平成30年度交付数2,408本(風致地区2,408本、緑地協定0本)、令和元年度交付数2,016本(風致地区2,016本、緑地協定0本))。

令和2年度

(管理番号)
03 03 08 01 002155000 02

(担当課)
緑政課

(責任者)
廣野 浩之

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 館山寺総合公園運営事業

◇事業目的・事業対象

花と緑をテーマとした観光拠点として、来園者に対しおもてなしの空間を演出する。また、フラワーパークと動物園を一体的に管理するなど、効率化に向けた改善を行い、将来まで持続できる施設運営を行う。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.167】

- ・フラワーパークと動物園を一体的に管理し、効率的な運営と利用者サービスの向上に努める。
- ・浜名湖花フェスタなどのイベントを通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として来園者に「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、魅力ある花と緑の空間を演出する。
- ・来園者が安心して快適に施設を利用できるよう、施設のUD化や老朽化した施設の改修を適宜実施する。
- ・開園50周年を記念したイベントを開催し、花の聖地として国内外にアピールする。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務		○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	638,508	349,718				
	決算	612,366					
	国・県支出	202,800	91,110				
	市債	227,000	76,200				
	その他	34,369	48,387				
	一般財源	148,197	134,021				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		21,700	18,200				
人工	正規	3.1	2.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.8
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー	○ 5.1	⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・浜名湖観光圏の中核となる施設として観光業の集客に貢献している中で、雇用創出、花みどり文化振興・産品販促に繋がる政策を立てる。
- ・花の聖地として、花みどり文化を国内外を問わず多くの人々に提供する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
フラワーパーク入園者数(人)					-		167
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	480,000	490,000	500,000	470,000	470,000	470,000	470,000
実績値	432,455	460,286					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
観光交流客数(千人/年)					Ⅲ-2(2)イ		Ⅲ-2(2)イ
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	22,330	23,700	20,400	20,800	21,200	21,600	22,000
実績値	18,810	R2.10頃確定					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.167】

- ・フラワーパークと動物園を一体的に管理し、効率的な運営と利用者サービスの向上に努める。
- ・浜名湖花フェスタなどのイベントを通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として来園者に「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、魅力ある花と緑の空間を演出する。
- ・来園者が安心して快適に施設を利用できるよう、施設のUD化や老朽化した施設の改修を適宜実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・将来的な安定集客を図るため、引き続き浜名湖花フェスタの主会場として50万球のチューリップと1,300本の桜による「世界一美しい桜とチューリップの庭園」と銘打った演出やフジ棚の拡幅などを行い、魅力ある花と緑の空間を提供した。また、夜桜やフラワー・イルミネーションのほか、新たにフジの夜間開園を追加し、広報を精力的に行った結果多くの来園者を数えた。来園者数は目標値超へ順調に推移していたものの、新型コロナウイルスの影響が深刻化した3月に来園者数は急失速し、46万人にとどまった。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜名湖花フェスタの花のメイン会場となるフラワーパークでは、早春の梅からハナショウブに至る花のリレーを展開するなど、浜名湖観光圏の参加施設と連携して事業を行った。
- ・来園者が安全で快適に過ごせるようUD昇降機の新設や、魅力空間演出のために、噴水の改修を行った。
- ・UD昇降機のネーミングライツパートナーが決まり、財源の確保ができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・老朽化した施設・設備の改修等を計画的に行う。
- ・開園50周年を記念したイベントを開催し、花の聖地として国内外にアピールする。
- ・浜名湖花フェスタ終了後の7月以降は、花の演出が乏しく客足が鈍る。このため、他事業お誘致など誘客ができる打開策を検討する。
- ・UD昇降機ネーミングライツの契約を継続させる。

令和2年度

(管理番号)
03 03 08 01 002155000 02(担当課)
緑政課(責任者)
廣野 浩之(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日**補助シート** (事業名) 館山寺総合公園運営事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
167	<ul style="list-style-type: none">・開園50周年に向けた施設整備・開園50周年に向けたソフト事業の検討	<ul style="list-style-type: none">・開園50周年事業の施設整備・開園50周年ソフト事業実施・施設の長寿命化対策の計画を検討	<ul style="list-style-type: none">・施設の長寿命化対策の計画的な実施	<ul style="list-style-type: none">・施設の長寿命化対策の計画的な実施
167	<ul style="list-style-type: none">・浜名湖花フェスタの開催・虹のフジのトンネル整備(R2年度完成予定)	<ul style="list-style-type: none">・浜名湖花フェスタの開催・虹のフジのトンネル整備(R2年度完成予定)	<ul style="list-style-type: none">・浜名湖花フェスタの開催	<ul style="list-style-type: none">・浜名湖花フェスタの開催

令和2年度

(管理番号)
03 03 08 01 002155000 03(担当課)
緑政課(責任者)
廣野 浩之(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 緑化推進事業

◇事業目的・事業対象

民間事業所に対し緑化を指導し、緑豊かなまちづくりを推進する。

◇事業の概要

工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S51	-	一般会計	自治事務	緑の保全及び育成条例	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算						
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他						
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		4,480	4,560				
人工	正規	0.6	0.6				
	再任用(h31)		0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.6、12.8
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

大規模な事業所内の緑化を推進し、保全の維持継続をすることにより、持続可能な都市及び人間居住を実現し、自然と調和したライフスタイルの意識を持つようにする。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
事業所緑化指導数(件/年)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	80	80	80	80	80	80	80
実績値	59	69					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・市民との協働で進める「花とみどりのまちづくり」において、事業者自らが緑化に取り組もうとする契機として推進を後押しする啓発の意味を持ち、有効な取組みとして指導していく。

・事業所等緑化協議 69件

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業所等敷地内緑化指導については、平成27年度見直した要綱(主に緑地率の規制を緩和したもの)に基づき緑地緑化指導をした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・緑化に関する社会状況を考慮し、緑化基準を適宜見直していく。

令和2年度

(管理番号)
03 03 08 01 002155000 04

(担当課)
緑政課

(責任者)
廣野 浩之

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 花と緑のまち・浜松推進事業

◇事業目的・事業対象

「花と緑の祭」などのイベントの開催やボランティア団体への支援を通じて花と緑に親しむ市民を増やし、「花と緑のまち・浜松」を推進する。

◇事業の概要

- ・「浜松市花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
- ・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントを開催する。
- ・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
- ・市役所本庁舎やJR浜松駅周辺などの地域拠点にシンボル花壇やフラワーポットを設置し、維持管理を行う。
- ・JR浜松駅前のモザイクカルチャー展示物を適正に維持管理する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S31		一般会計	自治事務		—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	77,733	79,132				
	決算	75,090					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1	74,276				
	一般財源	75,089	4,856				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		28,700	24,160				
人工	正規	3.7	3.0				
	再任用(h31)		0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.8
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・公共空間への花飾りや花ボランティアの育成を通じ、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つことができる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
花づくりに関連するボランティア参加者数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	12,500	13,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
実績値	11,858	11,003					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
企業展示花壇設置数(対象箇所に対する企業展示割合%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	50	50	50	50	50	50	50
実績値	49	49					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・「浜松市花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
- ・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントを開催する。
- ・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
- ・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
- ・市役所本庁舎やJR浜松駅周辺などの地域拠点にシンボル花壇やフラワーポットを設置し、維持管理を行う。
- ・JR浜松駅前のモザイクカルチャー展示物を適正に維持管理するとともに、モザイクカルチャーに関連した市民制作講座を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・「花と緑の祭」や「花と緑のコンクール」の開催、浜松駅前等拠点花壇整備、モザイクカルチャーによるシンボル装飾などを通じて、花と緑にふれあう機会の創出を図ることにより、市民の花と緑への造詣を深めることができています。
- ・各種支援を行うことにより、花の会や市民団体、企業展示花壇等を通じて、市民協働による「花と緑のまち」が推進されており、花と緑に関するボランティア数も多く参加いただいているが、目標値には届かなかった。各ボランティア団体の共通の問題として、高齢化に伴う参加者数の減が挙げられる。
- ・企業展示花壇については、新たに参加した企業数は増えたが、複数箇所管理を減らした企業もあり、管理41花壇のうち20花壇となった。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・年3回の鍛冶町通りの植替えを市民協働で行うことで、業務委託費の削減ができた。
- ・花と緑の祭は、平成29年度から実行委員会内にワーキンググループを設け、全体の見直しを行っている。
- ・モザイカルチャー市民講座の見直しを行う。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・沿道、公共施設への園芸資材交付の申請数、申請額ともに増加しているが、申請に対し8割程度の交付を実施している。花と緑のまちを推進するためには協働の取り組みが重要であり、市民活動団体から求められる資材を適切に交付できるよう、交付対象などの検討を今後も継続して行う。
- ・まちなかにある拠点花壇のエリアを再検討し、事業の効率化を図る。
- ・企業展示花壇の協力企業をさらに増加させる。

事業シート (事業名) 緑地保全事業

◇事業目的・事業対象

特別緑地保全地区や市民の森、保存樹木・保存樹林を指定するとともに、協働により適正に維持管理することで、都市部における貴重な緑を次代に引き継ぐ。

◇事業の概要

- ・保存樹木・保存樹林を指定し、その所有者(管理者)に対し維持管理として報償金を交付する。
- ・保存樹木・保存樹木のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
- ・市民の森候補地(11地区)について、地権者の理解を得ながら指定する。
- ・市民の森指定地の所有者に対し、維持管理として報償金を交付する。
- ・市民協働による樹林地の維持管理活動を安全・安心に実施するため、活動の対象となる市民の森において境界の現況測量を行う。
- ・高林住吉市民の森では、保全計画書に基づいた市民活動の積極的な展開を促すとともに、平成30年度に設立した「高林住吉市民の森 保全・利活用協議会」の活動を活性化し、組織運営のサポートを実施する
- ・市内の「市民の森」を有効利用した自由な企画事業を募り、市民協働の手法により積極的な市民活動を担う市民団体の掘り起こしや人材育成を図る。
- ・特別緑地保全地区(富塚椎ノ木谷地区)では、協働による自然環境の適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活発化させる施設整備を行う。
- ・風致地区や自然公園(国定・県立)などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S52		一般会計	自治事務	都市計画法, 静岡県立自然公園条例, 緑の保全及び育成条例	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	33,815	34,918				
	決算	31,158					
	国・県支出						
	市債						
	その他	107	18				
	一般財源	31,051	34,900				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		26,740	26,320				
人工	正規	3.5	3.4				
	再任用(h31)		0.7				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.8					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6、11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.8
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.1、15.2、15.5
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ インノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・緑地の保全や自然公園等の保護を通じ、生態系の保護・回復を行い、水と衛生の持続可能な管理を確保する。
- ・緑地保全で出た廃棄物の管理に注意を払うことで環境の悪影響を軽減し、安全で利用可能な緑地を提供することで持続可能な都市及び人間居住を実現する。
- ・緑地保全や自然公園の保護を行うことで、森林をはじめとする陸域生態系を持続可能にするとともに、生物多様性の損失を阻止する。
- ・緑地を適切に保全することで、自然災害に対するレジリエンスの強化に寄与する。

◇事業の指標(R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
保全が担保される緑地の面積(ha)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	150	165	180	195	210	225	240
実績値	84	84					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・保存樹木・保存樹林を指定し、その所有者(管理者)の維持管理に対して報償金を交付する。
- ・保存樹木・保存樹林のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
- ・市民の森候補地(11地区)について、地権者の理解を得ながら指定する。
- ・市民の森指定地の所有者(管理者)の維持管理に対して報償金を交付する。
- ・市民協働による維持管理活動を安全・安心に実施するため、活動の対象となる市民の森において境界の現況測量を行う。
- ・市民の森では、保全計画書に基づいた市民活動の積極的な展開を促すとともに、高林住吉市民の森においては、平成30年度に設立した「高林住吉市民の森 保全・利活用協議会」の活動を活性化し、組織運営のサポートを実施する
- ・市内の「市民の森」を有効利用した自由な企画事業を募り、市民協働の手法により積極的な市民活動を担う市民団体の掘り起こしや人材育成を図る。
- ・特別緑地保全地区(富塚榎ノ木谷地区)では、市民協働による自然環境の適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活性化させる施設整備を行う。
- ・風致地区や自然公園(国定・県立)などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

環境の基盤・骨格を形成する緑地については、緑地の存続、永続性の担保を図るため、平成27年9月に緑地保全の優先順位付けと保全の方法を定めた、「地域制緑地指定及び見直し計画」を策定して、市民協働を取り入れた市民の森の保全や風致地区の方針(案)の道筋を示した。

優先地区 Aランク地区(富塚小藪 11.7ha、高林住吉 8.3ha、富塚西小周辺 11.2ha、幸・曳馬 1.6ha、富塚東 3.7ha、和合・富塚 3.0ha、富塚北 1.1ha、遠州山野辺の道 191.8ha)

〈緑地指定状況: H30年度末〉

景観重要樹木 1本、保存樹 54本、保存樹林 77箇所42.6ha、市民の森 35.0ha、・特別緑地保全地区 6.7ha

- ・市民の森及び保存樹林などの指定はほぼ横ばいが続き、指標となる面積は変更なし。
- ・市民協働による保全は、計画初期段階において人材育成に時間を要するため、計画より遅れている。
- ・先行モデルとなる高林住吉地区の動向によっては目標計画を変更する必要がある。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民の森や保存樹林・保存樹木所有者の維持管理に対し報償金を交付した。
- ・市民協働による保全の先行モデルとして平成30年度に設立した、高林住吉市民の森保全・利活用協議会の運営を支援し主体的な活動を促した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・緑地の維持管理は、所有者の負担が大きくなっており、交付する報償金だけでは対応しきれない。
- ・高林住吉地区では、平成30年度に設立した協議会を中心に自主的な保全活動の運営を定着化させる。
- ・令和2年度以降は高林住吉地区のみならず、他地区の市民の森を利活用し団体育成など市民活動醸成を推進する。
- ・ナラ枯れによる被害が深刻化しているため、被害状況を把握し対応する。

事業シート (事業名) 緑の基本計画策定事業

◇事業目的・事業対象

浜松市の緑の将来像、目標、施策などを定めることにより、緑地の保全及び緑化の推進を総合的、計画的に実施する。

◇事業の概要

- ・浜松市総合計画における個別計画に位置付けられている「緑の基本計画」の見直しを図る(現計画はH22～R1年度)
- ・「緑の基本計画」は、浜松市の将来像、目標、施策などを定めることにより、緑地の保全及び緑化の推進を総合的・計画的に実施するための基本計画である。
- ・計画策定に向けた基礎資料を作成するための緑被状況等の現況調査、調査等の結果に基づく計画(案)作成、市民フォーラムやパブリックコメントの実施を経て次期基本計画の公表を行う。
- ・公表時期は、上位計画である都市計画マスタープランに合わせる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29	R2	一般会計	自治事務	都市緑地法	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	6,313	4,716				
	決算	6,298					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	6,298	4,716				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		8,400	6,300				
人工	正規	1.2	0.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6、11.7、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.4	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.1
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	○ 15.2、15.5
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

緑の基本計画は、みどりによってまちづくりの課題解決を目指し、持続的に発展する都市の実現に貢献する計画であり、計画したプロジェクトや推進プログラムを実施することにより、まちづくりや環境、教育、産業、雇用等に繋げる

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
「緑の基本計画」の策定							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	計画(案)作成	計画案作成	ハブコメ、推進プログラム		-		-
実績値	現計画の評価、基本方針の設定	計画案作成					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ◆現況の把握を行う。
- ◆策定方針の策定を行う。
- ◆次期計画(案)の作成を行う。内容としては、将来像、まちづくりの課題、基本方針、指標、目標、緑地の配置方針、取組方針までの案を定める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ◆現況の把握した。
- ◆策定方針の策定した。
- ◆次期計画(案)の作成を行った。内容としては、将来像、まちづくりの課題、基本目標を定め、目標達成のための施策体系、具体的な施策を示すとともに、みどりの現況と課題を洗い出し、評価指標、推進体制の検討を行い、素案として取り纏めた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 前回策定時から業務委託の発注方法を見直しコスト縮減を図っている。
- ・ 見直した内容としては、計画策定に先立つ現況調査、分析業務を計画策定業務と切り離して別発注とし、競争入札とした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 前回策定時から委託の発注方法見直しを行い、コスト縮減と幅広い提案を募る。
- ・ 発注方法を指名型プロポーザルから公募型プロポーザルへ変更した。

事業費比較 今回(H29～R2) 17,981千円
 前回(H19～21) 33,164千円
 差額 △15,183千円

事業シート (事業名) 市街化区域内農地緑化保全事業

◇事業目的・事業対象

都市部の貴重な緑のオープンスペースとして機能している市街化区域内の農地を保全するため、生産緑地地区の指定や特定市民農園(いきいき菜園)の維持・運営を行う。なお、本事業は、市街化区域内農地の宅地並み課税に対する支援策として始めた。

◇事業の概要

- ・市街化区域内の農地を生産緑地として指定し、現地の保全の状況を監視する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として維持・運営し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭でできる野菜栽培講座を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務	生産緑地法、市民農園整備法、市民農園条例	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	9,082	9,255				
	決算	8,749					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,640	1,896				
	一般財源	7,109	7,359				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		6,300	7,000				
人工	正規	0.9	1.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓	○ 2.3	⑪都市	○ 11.7
③保健		⑫生産・消費	○ 12.8
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・土地の生産資源を確保し小規模食糧生産者の農業生産性を増進することで、持続可能な農業を促進する。
- ・生産緑地や特定市民農園を事業継続し、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供することで、人間居住を実現する。
- ・特定市民農園を市民が利用することで、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになり、持続可能な生産消費形態の確保に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
市街化区域内の農地に対する生産緑地と市民農園の割合(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	10	13	16	19	23	26	30
実績値	6	6					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・市街化区域内の農地を生産緑地として指定し、現地の保全の状況を監視する。
- ・市街化区域内の農地を特定市民農園(いきいき菜園)として維持・運営し、農業を行う市民に貸し出す。
- ・協働センターなどにおいて、家庭でできる野菜栽培講座を開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

<特定市民農園の設置>市街化区域内の中学校区に概ね1箇所 計25箇所を目標として開設する。

・H20 4箇所(楊子 篠原 三ヶ日 文丘) 70区画 4,672㎡ ・H21 4箇所(入野 小豆餅 染地台 鴨江)52区画 4,081㎡

・H22 3箇所(北島、楊子第二、横須賀)40区画 3,244㎡ ・H23 北島の区画増設 15区画 総計177区画 11,997㎡

・H26 北島の区画増設 1区画 総計178区画 12,286㎡

<菜園栽培講座>12回開催

<生産緑地の指定状況> 136箇所 16.85ha

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民農園(いきいき菜園)を利用者に開放するとともに、食や緑に関する講座を充実し、市民農園の魅力を高めた。
- ・生産緑地として指定した農地が適正に営農されているか確認した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・開設11箇所のうち小豆餅菜園については令和3年度末の閉園が決定した。その他の農園は、農地所有者と市が20年間の使用貸借契約を結んでいる。よって令和3年度までは継続して市民農園の維持・運営を行っていく。また、空き区画が存在する農園もあるため、空き区画を減らすための検討を行っていく。
- ・生産緑地法等の改正に伴い、指定面積要件を緩和する条例を制定し、農地所有者に指定申し出を促すことにより、市街化区域内農地の保全を推進する。

事業シート (事業名) 浜松城公園長期整備構想推進事業

◇事業目的・事業対象

平成26年2月に策定・公表している浜松城公園長期整備構想に基づき、埋蔵文化財包蔵地である旧元城小学校跡地と駐車場エリアについて遺構調査を行い、その調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.169】

- ・現地調査4年、整理作業1年の5年計画で実施予定
- 平成31年度 旧元城小学校跡地地内における遺構残存状況の確認
- 令和 2年度 前年度の調査成果により確認された遺構の範囲確認等の詳細調査
- 令和 3年度 前2ヶ年の調査成果により確認された遺構の掘削調査
- 令和 4年度 遺構掘削調査の続きと調査成果を踏まえた上での補足調査
- 令和 5年度 整理作業及び報告書刊行作業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
R1	R5	一般会計	自治事務		—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	62,241	61,684				
	決算	60,642					
	国・県支出		30,739				
	市債						
	その他						
	一般財源	60,642	30,945				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		2,100	2,100				
人工	正規	0.3	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

遺構調査を行い、発見された遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりに繋げることで新たな観光資源として持続可能な観光業の促進につながる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
浜松城跡(元城小跡地)の発掘調査の進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		25	50	75	100		
実績値		25					169
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 旧元城小学校全域に幅2mの調査溝を設定
総延長約1,350m＝約2,700㎡
- ・本丸東側堀、本丸裏門の残存状況を確認
- ・二の丸御殿の残存状況を確認
- ・二の丸全体における遺構の残存状況を確認
- 堀跡、御殿跡の検出状況によっては調査溝を追加
- 小学生を対象とした発掘体験会を実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

浜松城に関わる痕跡が残存している部分があることを確認

- ・本丸東側石垣、堀を検出
- ・御誕生場と二の丸の境界にあたる段差を確認
- ・礎石を検出
- ・瓦溜まり6箇所を検出
- ・柱穴等を多数検出
- ・戦国時代から江戸時代にかけての瓦や陶磁器・土器が出土

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・令和2年度は、元年度確認調査により残存している部分があることが判明した二の丸御殿等の残存状態や構造を証さに確認するため確認調査を実施する
- ・令和3年度以降も前年度までの調査結果を踏まえ、遺構の残存状況や規模、形態、時期の詳細を明らかにするため確認調査を実施する

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜松城公園長期整備構想に基づき、旧元城小跡地の遺構調査を実施する。
- ・調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討する。

補助シート (事業名) 浜松城公園長期整備構想推進事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
169	<p>・二の丸(元城小跡)全体における遺構の残存状況の確認 ➢調査溝 幅2m×約1,350m=約2,700㎡ ➢掘削深度 0.6m～1.0m</p>	<p>・前年度の調査成果により確認された遺構の範囲確認等の詳細調査 ➢石垣・堀跡詳細確認調査区 100㎡ ➢二の丸御殿等詳細確認調査区 ①調査溝 幅2m、10m間隔格子状 1200㎡ ②平面調査等 200㎡程度</p>	<p>・前2ヶ年の調査成果により確認された遺構の掘削調査</p>	<p>・遺構掘削調査の続きと調査成果を踏まえた上での補足調査</p>

事業シート (事業名) 都市計画公園見直し事業

◇事業目的・事業対象

人口減少の将来を見据えて、長期未着手の都市計画公園区域を見直し、都市計画法上の規制を取り除く。

◇事業の概要

- ・「浜松市都市計画公園の見直し計画」に基づき、都市計画の変更手続きを進める。
- ・都市計画の変更に向けた地元説明会を開催する。

【参考】

H23: 都市計画公園の見直し方針及び整備プログラムを検討した。
 H24: 市民アンケート調査を行い、意見を反映させた上で見直し計画・整備プログラムを検討した。
 H25: 「都市計画公園の見直し方針」について、パブリック・コメントを実施し意見を反映させた上で策定した。
 H26: 方針に基づき策定した「都市計画公園の見直し計画」を公表した。順次、都市計画変更に向けての地元説明会を行った。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務	都市計画法	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	6,823	3,691				
	決算	6,644					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	6,644	3,691				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		7,000	3,500				
人工	正規	1.0	0.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

この事業は、都市計画決定をしているものの、長期未整備のままとなっていた都市計画公園の見直しを行い、整備不要と判断した区域について、都市計画手続きを進めるための事業であり、計画を継続すると判断した公園について、整備プログラムに従い計画的に整備し、公共スペースの提供につなげる

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
都市計画公園等の変更(減少)面積(ha)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	142	110	1	1	6		156
実績値	11	111					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

「浜松市都市計画公園の見直し計画」に基づき、都市計画の変更手続きを進めるため、対象公園の都市計画決定図書の作成及び手続実施公園の電子化業務を行う。

【参考】

H23:都市計画公園の見直し方針及び整備プログラムを検討した。

H24:市民アンケート調査を行い、意見を反映させた上で見直し計画・整備プログラムを検討した。

H25:「都市計画公園の見直し方針」について、パブリック・コメントを実施し意見を反映させた上で策定した。

H26:方針に基づき策定した「都市計画公園の見直し計画」を公表した。順次、都市計画変更に向けての地元説明会を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

・平成26年度「浜松市都市計画公園の見直し計画」を策定・公表。都市計画変更の第1期分として、同じく都市計画変更を検討している都市計画道路に接する都市計画公園12箇所の都市計画変更手続きに着手。(地元説明会9回)

・平成27年度は、都市計画公園8箇所、都市計画緑地1箇所の都市計画変更手続きを完了。

・平成28年度は、公園見直し計画の中で不足していた広域的な視点における適正配置の検証を優先的に行うこととし、都市計画変更手続きを見送った。

・平成29年度は、都市計画公園5箇所、都市計画緑地1箇所の都市計画変更手続きを完了。

・平成30年度は、都市計画公園6箇所の都市計画変更手続きを完了。

・令和元年度は、都市計画公園2箇所、都市計画緑地1箇所、都市計画墓園1箇所の都市計画変更手続きを完了。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・平成27年度は、同じく都市計画変更を進める都市計画道路に接する公園緑地9施設を見直した。
- ・平成28年度は、公園見直し計画の中で不足していた広域的な視点における適正配置の検証を優先的に行った。
- ・平成29年度は、公園緑地6施設の見直しを実施した。
- ・平成30年度は、公園緑地6施設の見直しを実施した。
- ・令和元年度は、公園緑地等4施設の見直しを実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・「浜松市都市計画公園の見直し計画」により見直し対応とした30箇所の公園緑地のうち、手続きが終わっていない4箇所の公園緑地について、令和2年度以降に随時都市計画変更手続きを進めると共に、手続きが完了できなかった公園等の今後の取り扱いについて検討する。また、他都市計画施設との整合を図るため、都市計画の変更手続きが必要となる公園等についても、条件が整い次第、変更手続きを行う。

事業シート (事業名) 花と緑の基金積立金

◇事業目的・事業対象

花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てるとともに、その原資を活用して緑地の保全と緑化の推進を行う。

◇事業の概要

・市民から花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	—	一般会計	自治事務	花と緑の基金条例	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	500	500				
	決算	234					
	国・県支出						
	市債						
	その他	234	500				
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	1,400				
人工	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.6
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.6	⑮陸上資源	○ 15.5
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

基金運用益を活用し、樹木交付事業などによる緑地の保全及び緑化の推進を行うことで生態系の保護・回復を行い、水と衛生の持続可能な管理を確保する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
花と緑の基金に寄せられた寄附金(千円)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1,000	500	500	500	500	500	1,000
実績値	230	234					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・市民から花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

・令和元年度は、大口の寄付がなく、目標を達成することができなかった。
 ・大口の寄付に頼ることなく、多くの寄付金を集める手法を検討する必要があるが、現状では募金箱の設置箇所を増やす程度の対策になっている。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・基金を適正に管理した。
- ・令和元年度末残高＝256,474,852円
(289,471,961円《平成30年度末残高》 + 233,711円《令和元年度寄附合計》 - 33,230,820円《令和元年度取崩し》)

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・継続して基金を適正に管理する。
- ・基金の活用を積極的に進めるため、条例改正により処分対象となった事業への計画的な充当を検討する。
- ・令和元年度は、フラワーパーク50周年を迎えるにあたり、施設改修等の一部に充当するため基金の取り崩しを行った。
(33,230,820円)

事業シート (事業名) 緑化推進運営経費

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	7,634	11,023				
	決算	7,232					
	国・県支出						
	市債						
	その他	5	1				
	一般財源	7,227	11,022				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		29,400	29,400				
人工	正規	3.8	3.8				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工